

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.5

2012.8.1 (No.2696)

第2560地区ガバナー／鈴木重 竜
会 長／杉山 幸 英
会長エレクト／丸山 行 彦(クラブ奉仕A)
副 会 長／高橋 司(クラブ奉仕B)
幹 事／若槻八十彦
S A A／西山 徳 芳
会 計／小出子恵出

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(^はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

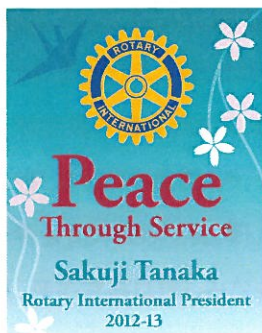
- 本日の出席会員数:55名中36名
- 先々週出席率:86.54%

【ゲスト】

・夏期交換学生 渡辺晴喜さん

【先週のメイクアップ】

- [7.26] 三条東RCへ
 - ・斎藤弘文さん、小越憲泰さん
 - ・菊池 渉さん、石橋育於さん
 - ・荻根澤隆雄さん、中村和彦さん
 - ・浅野金治さん、伊藤寛一さん
 - ・丸山行彦さん、山田富義さん(10名)
- [7.26] 燕RCへ
 - ・関川 博さん
- [7.27] 吉田RCへ
 - ・加藤紋次郎さん
- [7.28] クラブ奉仕委員会セミナー(長岡)へ
 - ・荻根澤隆雄さん
- [7.29] 国際奉仕フォーラム(長岡)へ
 - ・佐野勝榮さん
- [7.31] 三条北RCへ
 - ・斎藤弘文さん、石橋育於さん
 - ・加藤紋次郎さん、中村和彦さん



「奉仕を通じて平和を」

2012～2013年度国際ロータリーのテーマ

「長岡花火」



会 長 挨拶

杉山幸英 会長



皆さんこんにちは、挨拶申し上げます。

夏期交換留学生の渡辺晴喜さんようこそお出で下さいました。後ほど御挨拶をいただき、饞別を差し上げたいと思います。7月前半は雨の日もありましたが、後半は梅雨も明け暑い日が続きました。雨が少なく水不足の心配が出てきます。オリンピックも始まり、日本人の活躍により夜更かしになり、この暑さと共に寝不足の日が続きます。

この夏の熱中症での死亡者数は50名を超えています。体力低下で熱中症になりやすいので、水分と塩分の補給・涼しい所を心がけてこの夏を乗り切りたいものです。

先週の渋谷健一会員の卓話の中で故藤田説量会員の週報号外を発行してはどうか？のお話を理事会に諮りました所、ぜひ作ろうではないかと賛同を得ましたので、ロータリー情報の皆さんを中心に作成したいと思いますので会員の皆様より当時のエピソード等をお聞かせいただきますよう、皆様のご協力をお願い致します。

当クラブ元会員で第26代会長の内山裕一さんがご逝去されました。理事会で生花と弔電に決まりましたが供花・供物辞退のようですので、香典と弔電に変えてお参りに行きます。

本日の卓話は「会員増強拡大月間」で荻根澤委員長のお話です。皆様、会員増強にはぜひご協力をいただきしたいと思います。

荻根澤委員長宜しくお願い致します。
挨拶を終わります。

幹事報告

若槻八十彦 幹事

◎鈴木ガバナー事務所より

「第1回 ローター財団セミナー開催のご案内」
日 時 8月25日(土) 12:30～13:30
受付・昼食／13:30～16:00 R財団セミナー
会 場 ホテルニューオータニ長岡 2階
出席者 会長、R財団委員長

◎鈴木ガバナー事務所より

「2012-13年度 地区大会記念ゴルフ大会のご案内」
日 時 10月11日(木) 午前8時(登録受付7時より)
場 所 長岡カントリー倶楽部
締 切 8月31日(金)

ニコニコBOX

杉山幸英さん

猛暑です。熱中症に気をつけましょう。
荻根澤会員、増強拡大委員長よろしくお願い致します。

斎藤弘文さん

三条夏祭りが3日の民謡流し、4日の花火、5日の夜店市及び総踊りと開催されます。4日土曜日に花火大会を行うことで、市民から多いに期待されております。

(株)コメリ様の創業60周年記念式に招待されました。その際、三条を代表してお祝いの言葉をのべさせていただきました。大変光栄に思います。

渡辺 稔さん

本日この後、壮行会に向かわせていただきます。
会員皆様、お世話になります。

小出子恵出さん

7月27～29日に、Mさんと長年の念願だった『梅海新道』を踏破して来ました。蓮華温泉～朝日岳～親不知の40kmを2泊3日で死ぬ思いで歩きました。

渋谷健一さん

先週の卓話で昔話をしたにも拘わらず、歸山さんよりお礼の言葉をいただき、気配りに感謝申し上げます。

樺山 仁さん

連日の暑さにびっくりするようです。
ロンドンでのオリンピックで日本勢の金メダルが少なく残念ですが、毎夜テレビとお友達です。
本日の荻根澤会員の元気の出るお話しに期待して。

荻根澤隆雄さん

去る7月26日に柏崎の花火大会を觀賞して来ました。始めて観ましたが、仲々なものでした。
今日は堅い話になります。眠ってください。

五十嵐昭一さん

連日の猛暑に体調をくずさないように注意しておりますが、その分冷たいアルコールが増えております。

五十嵐晋三さん

きびしい暑さです。皆様くれぐれもご自愛ください。
荻根澤さん、卓話ご苦労様です。

佐野勝榮さん

暑い日が続いています。
今日の卓話、荻根澤さんご苦労様です。

中林順一さん

午後、新潟行です。
早退します。ごめんなさい！

小越憲泰さん、 山田富義さん、 若槻八十彦さん
熊倉昌平さん、 金子俊郎さん、 伊藤寛一さん
高橋 司さん、 中村光一さん、 関川 博さん
丸山行彦さん、 会田二郎さん、 明田川賢一さん
吉井直樹さん、 松永一義さん

荻根澤委員長、本日は卓話ありがとうございます。
お話楽しみにしております。

8月1日分 ￥29,000
今年度累計 ￥166,000

「クラブ奉仕委員会セミナー報告」

会員増強委員長 荻根澤隆雄 会員



お暑うございます、荻根澤です。
今日はクラブ奉仕委員会セミナーが28日に開催されました、杉山会長の命により本セミナーに出席させて頂きました。

まず、セミナーの次第に従って報告を進めて行きたいと思います。

会場は長岡の大手通りの「まちなかキャンパス交流ルーム」で開催されました。セレモニーですが鈴木ガバナー挨拶、青木クラブ奉仕委員長の挨拶並びに青木委員長の進行で開始となりました。

鈴木ガバナーより田中作次RI会長の年度テーマでもあります「奉仕を通じて平和を」、地区スローガン「恕の心を以って・奉仕を通じて平和を」。

－脚下照顧して明日へ繋げよう－ これは四つのテストに照らして活動を致しましょう、いわゆる活動の規範と致します、であります。

RIテーマと地区スローガンが同軸であると説明され今年度の地区理念「恕を以って和を為す」と改めて確認。

地区目標について

1、クラブ活性化への挑戦

- ① 会員の維持と増強
 - ・各クラブ最低5%の純増
 - 当クラブは3人程度の純増が目標。
- ② 委員会相互の連携と地域との協働
 - ・委員会活動の連携にて、より効果を上げる工夫
 - ・他団体とのコラボによる地域連携
 - ・全国植樹祭新潟県開催への協力
 - 第65回全国植樹祭（平成26年春季開催）
 - 新潟県での開催は
 - 昭和47年に開催されて以来42年ぶりの2回目の開催です。
- ③ 東北大震災等被災者への支援
 - ・地域協働ネットワーク活動への支援
- ④ 田中作次RI会長指針への協力

2、RI戦略計画の3つの優先項目を支援する。

- ① クラブのサポートと強化
 - ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる。
 - ・さまざまな奉仕活動に参加する様に奨励する。
 - ・会員の増強と維持を改善する。

- ・リーダーを育成する。（次世代リーダー）
- ・クラブと地区における長期戦略の立案を奨励する。

② 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオの撲滅。
- ・特に以下の分野における奉仕の継続性を高める。
 - －新世代奉仕のプログラム（次世代リーダーの育成に重点）
 - －ロータリー財団の6つの重点分野
- ・他団体との協力やつながりを深める。
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する。

③ 公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる。
- ・行動を主体とした奉仕を推進する。
- ・中核となる価値観を強調する。
- ・職業奉仕を強調する。
- ・クラブにおけるネットワークづくり、クラブ独自の主な活動について周知を図り奨励する。…地区ホームページを積極的に活用して欲しい。

3、国際平和フォーラムの推進に協力

- ・来年の5月17日～19日、広島にて開催されます
- 2013ロータリー世界平和フォーラム広島
- テーマ「平和はあなたから始まる」、
- 特に新世代の参加を奨励しましょう。
- 国内ロータリアンから一人当たり300円の資金調達を募る。

4、国際大会への参加

- ポルトガルはリスボン大会へ
- (2013年6月23日～26日)
- テーマは「平和」

『CLPについて』

RI理事会が2004年度に承認し、各クラブへの推奨を発表致しました。

CLPとDLPが最も異なる点は、DLPは世界の全地区が採用しなければならないRIの強制的な地区組織の管理システムですが、CLPの採否は各クラブの裁量に任されている点です。

そのCLPの導入目的

CLPの最大の目的は、クラブを長期的に如何に発展させ、活性化を図って行くかと云うところにあります。「CLPはクラブ組織と活動の簡略化」と捉

えているクラブがあるようですが、これは間違いです！
との事です。

クラブ組織と活動を簡素化しますと、クラブは寧ろ衰退へと向かう危険性が有ります。

会員の維持と新会員の勧誘を図り、クラブを更に発展させて行くためには、クラブ自体を魅力ある、生き生きとしたクラブへと絶えず変えて行く努力が必要です。CLPはその様な目的を持って各クラブへ推奨されたのです。

* CLP 導入の際の検討事項

クラブを活力あるものへ高めて行くために検討を致す事が要請されています。

* クラブの多様性とCLP

* クラブの長期計画

田中作次RI会長がロータリークラブ強化への100のヒントを提唱しております、これを生かしてクラブの活性化に向け尽力して下さい。と、あります。

クラブの活動を、広報を通じて対外にアピールし、地域に信頼され・地域に貢献するロータリークラブの形作りをする事により認知度も高まり、クラブの魅力も増します。クラブ活動に魅力があれば会員維持力が備わります、また新会員獲得にも作用します。

『ロータリー地域協働ネットワークセンター』について

鈴木ガバナーが地区協議会の場で「ロータリー地域共同ネットワークセンター」を設置すると発表されました。……今回、共同が協働に変わりました。

地区協議会へ参加された方はご存知かと思えますが、中越地震の際に鈴木ガバナーは自ら率先して被災地域・被災者の為に尽力をされた方であります。

その時に有事の際の動きに行政サイドとの間に考え方に大きな隔たりを感じた一人でもあります、自ら動いて何が必要かを学んだ方でもあります。

その様な中で組織として或はシステムとして必要だと思ったのが「地域協働ネットワークセンター」で、これをロータリーで構築する事の必要性を説かれました。

この「ロータリー地域協働ネットワークセンター」に付いてはネットでも案内されておりますので是非とも地区ホームページをご覧頂き、ご理解を頂きまして各クラブよりご協力を頂きたいとの事です。

最後に、当クラブの会員増強・増員については理事・役員はもとより全会員のご協力を頂きます事、切に願ひまして本日の責務を閉じたいと思ひます、有難うございました。

ロータリー・クラブ強化への100のヒント

RI会長 田中作次

1. 焦点を絞った奉仕活動を行う
2. 委員会の数をクラブの規模に合わせて調整する
3. 派閥のない、風通しの良いクラブを作る
4. みんなが仲良く、誰とでも話し合いが出来る雰囲気を作る
5. 5年未満の新会員研修を行う
6. 年齢バランスを改善し、クラブの中・長期計画にも反映させる
7. 社会人としての倫理観、信義感、そして奉仕への意欲を持つ人を会員として勧誘する
8. クラブ会長は謙虚に。クラブを改善させるために、誰からでも意見やアイデアを聞くこと
9. 例会の開始時間を厳守する: 時間延長は、来訪者や会員に迷惑をかけるだけでなく、会員の貴重な時間を奪うことになる
10. 退会者を増加させることのないよう、頻繁な例会日の変更は避ける
11. 例会を頻繁に欠席する会員に気を配り、早い段階で問題を解決する。クラブ会長と委員長が、長期間欠席している会員を訪ね、欠席理由を聞き出し、状況把握に努める
12. クラブは3~5年間の中・長期計画を作り、計画に沿って毎年実行する
13. 同業者、友人、親戚、隣人や趣味を同じくする人を勧誘する
14. 未来にロータリーを託す人材を育成するため、会員への教育と研修を向上させる
15. 会員増強及び拡大月間である8月に、会員増強キャンペーンを実施する
16. クラブの充実と活性化を図るため、クラブ会員と幹事のやる気を引き出す
17. クラブに質問箱(意見も含む)を設置し、該当する委員会が回答する
18. 退会者は本当の退会理由を言わない場合が多いので、事前に真の問題点を推測する
19. 会員が互いにより親しくなれるよう、例会での着席テーブルを定期的に更新する
20. 会員をロータリアンとして成長させることが出来るよう、委員長や副委員長が持てる能力を十分に発揮し、活発な委員会づくりをする
21. 魅力的な奉仕プロジェクトや例会プログラムを実施するよう心掛ける
22. 可能であれば、配偶者同伴の例会を毎月1回、または年に数回実施する
23. ロータリー財団への寄付(毎年100ドル以上)の重要性をロータリアンに伝える
24. ロータリーは人生道場と言われるように、例会が会員一人ひとりにとって役立つものとなるよう意識する
25. 「四つのテスト」を重視し、個人生活、社会生活、職業生活に適用させる
26. 会員は思いやりの心を持ち、他人を理解しようと心掛ける
27. 事務局員に負担をかけないよう、会員が可能な限り週報を発行し、コミュニケーションを促進する
28. 各委員会の運営基準や行動マニュアルを作成し、定期的な見直しを行う
29. クラブ例会のマンネリ化を防ぎ、常に創造的な例会の維持を図る
30. クラブの特徴や長所を探し、適宜改善しながら全会員で共通の理解を図る
31. 会場費がより安い場所に変更できないかを検討する

32. 会費の見直しと委員会の使用経費を分析し、予算を有効活用する
33. 大半のクラブ例会が夜に行われているため、昼の例会を夜の例会に変更することを検討する
34. 例会をより有意義な時間とするため創意工夫をこらす
35. クラブ年会費の他に、余分に徴収しないように注意する
36. 高価でなくとも斬新な食事を選び、マンネリ化を防ぐ
37. 会員増強の成功例を参考にする
38. できない理由を探すのではなく、できる方法を探す習慣を身につける
39. ロータリーは知り合いを増やす絶好の機会を提供する組織である
40. 会員増強が難しいという前に、今までにどれだけ増強の努力をしたかを見直す
41. 同じ条件下で素晴らしい増強を見せるクラブもあり、それはなぜか考える
42. 人生をさらに豊かにするために、異なる背景を持つ人たちと交流する
43. ロータリーは、たくさんの新しい友人をつくる機会を提供する
44. ロータリーと言う組織と地域社会奉仕の内容を、分かりやすく地域に伝える
45. クラブ会長が、エレクト年度から会員増強に努める
46. すべての会員が、クラブ数拡大の時と同じように、会員増強に参加する。そのために、グループ単位で計画し、実行する
47. 入会へと勧誘されたことのない人がまだ沢山いる
48. 親睦と奉仕活動のバランスを意識する
49. 多忙な人ほど時間の使い方がうまいため、そのような人を会員候補者として推薦する
50. 自分が誰の推薦によって会員になったかを思い出し、今度はそのお返しをする
51. 会員の行動、奉仕、達成、偉業、お祝い、親切心などを褒めたたえる
52. 元ローターアクター、元GSEメンバー、財団プログラム学友を勧誘する
53. 管理職や専門職務に携わる40歳以下の会員からなるクラブを設立する
54. 40歳以下の若い会員に対し、年会費を半額にすることを検討する
55. 年に何回かゲストデーを設け、全会員が交代で友人や会員候補者を例会に招く
56. 1989年に女性会員の入会が認められ、現在世界の女性会員は19万人を超えている。女性会員を増やすために、十分な努力をしているか検討する。
57. ロータリーは、週1回例会を開く、世界で最も長い歴史を誇り、最も伝統ある最大のNGOである
58. 会員候補者でない人も例会に誘えば、広報に役立つだけでなく、数年後には会員として入会する可能性もある
59. 例会では出来る限り積極的に多くの人の名前を呼んで、挨拶するように努力する
60. 先輩会員は、新会員をメイクアップ、地区大会、国際大会に連れて行くよう努力する
61. どんな組織にも長所と短所があり、ロータリーには長所が短所よりも多いため、105年間も続いてきた
62. 会員の3つの責務:会費の支払い、ロータリー雑誌の購読、例会への出席
63. ロータリアンは社会人の模範であり、青少年の模範でもなければならない
64. 例会やほかの諸会合を通じて、ロータリアンから学べることは非常に多い
65. 仲間のロータリアンから、問題解決や目標設定に必要な情報を得ることができる
66. ロータリーによって自分の人生が変わったという人が多くいる

67. 自分を成長させるため、目標となるモデルをロータリー—タリンから選ぶ
68. すべての会員が委員会に参加し、適切な役職を任されるように機会を提供する
69. 時間は貴重なので、時間が無駄になったと思われないような例会を計画する
70. ロータリアンの特典と義務をよく理解する
71. 新入会員だけでなく、その他の会員にもロータリーの基本情報を提供する
72. ロータリーを通じて世界を知り、世界に貢献する
73. 新会員や若い会員がクラブに溶け込めるよう、先輩会員が親しく声をかける
74. クラブは、奉仕の真の意味を学べる場所である
75. ロータリーの魅力とは、人の心をロータリーに引き付ける不思議な力のことを言う
76. クラブ委員会は活発に活動し、例会で委員会報告をする
77. 諸会合において、国際ロータリーの席次を守る(2010年手続要覧73-75頁を参照)
78. 先輩会員が新会員に個人的体験談を話す習慣をつくる
79. 人と会ったときには、相手よりも先に挨拶する
80. 例会終了時に、例会の改善点を確認する
81. ほかのクラブとの共同事務所(事務所)や例会場所の設置を検討する
82. 例会にふさわしくない場面や事態があった場合も、反面教師として学び、改善につなげる
83. いつも他人から学ぶ姿勢で例会や諸会合に臨む
84. 先輩会員は、新会員の隣に座り、よく話しかける
85. 新会員に、1年以内に会員候補者を推薦するよう依頼するのも良いアイデアである
86. クラブの会員全員が、5年ごとに最低一人の会員候補者を推薦する
87. クラブ会員として自己啓発を行い、社会の為に役立つことを理解し実践する
88. 意義ある年間計画を立て、定期的評価を行う
89. ロータリーに対し熱意を持ち、ロータリーの魅力はロータリーを深く理解することから始まると認識する
90. 会員全員に、クラブにとって絶対に必要な存在であると感じてもらえるようにする
91. 会員にとって何が最も重要かを把握するためのアンケート調査を実施する
92. ロータリーへの理解を深めてもらうよう、地域社会に働きかけることが広報活動の基本である
93. 記念行事などに、できるだけ配偶者、家族、ゲストに積極的に参加してもらう
94. 新入会員に親切に接し、思いやりを示す
95. 「好きこそものの上手なれ」と言うように、会員との効果的なコミュニケーションを図り、会員にロータリーをもっと好きになってもらい、能力を最大限に発揮してもらう
96. ロータリーは、利己と利他の調和を目的とする、人生哲学と言われている
97. 新会員の退会防止のため、入会前に正しい情報を提供する
98. 親しき仲にも礼儀あり、と言うことを忘れない
99. 各会員の長所を認識し、それを信頼する
100. 褒め言葉は惜しみなく与える

「夏期交換学生挨拶」

夏期交換学生 渡辺晴喜さん

この度、交換留学生プログラムと言う素晴らしい機会をいただきまして感謝いたします。この機会を自分の人生に活かしていけるよう努力いたしますのでよろしく願いいたします。ありがとうございます。



次週例会 8月15日 **クラブ休会**

次々週例会 8月22日 「公式訪問・事前訪問」
第4分区ガバナー補佐 杉山太三郎様

